奈良町の
ちょっといいところを
見て知る秋の1週間
ーきたまち・ならまち・高畑・京終・紀寺ー
奈良町見知ル
2023

奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.13

第3回実行委員会 2023年6月16日(金)

第3回の実行委員会では、現在でてきている企画の一覧をもとに、企画参加者交流会でのアイデアや感触も踏まえて、全体のバランスをみながら実施する企画について意見を出し合いました。

特に、「巡ル奈良町」は、今年度からの取り組みということもあり、全エリアから企画を出そうという意見が挙がりました。巡ル企画がなかった「京終・紀寺」エリアでは、天理大学生涯教育専攻の学生が、ガイドツアーを考えることになり、巡るスポットの案として京終駅舎や市場跡などが挙がりました。昨年、西部公民館の講座で受講生に見知ルの企画を巡るガイドツアーを実施した学生の経験を活かし、生涯教育専攻らしく地域の人と交流しながらアイデアを形にしていきます。

そのほか、企画参加者交流会で、巡ることを楽しんでもらうアイデアとしてシールラリーなどのアイデアが出たことを共有しました。見知ルは、奈良町全体の企画に参加するのも面白いし、一つのエリアの企画を制覇して、そのエリアを深く知るのも面白いというように、楽しみ方がたくさんあるのが良いところ。工夫次第で、私たちが来場者にどのように見知ルを楽しんでもらいたいと思っているのかを伝えることもできるのではないかといった意見も出て、充実した会議になりました。

次回は、企画の内容が出揃うので、楽しみ方を考えていきたいと思います。

聞ク読ム見知ルの実行委員

聞き手：天理大学　田中 梨絵

実行委員会のメンバーに話を聞いてご紹介します！

－自己紹介－

奈良町座の林 啓文です。

－今年の感触は？－

今年は「巡ル奈良町」というのが加わったのが新しいし、1回目、2回目からさらにボリュームアップしたし、バージョンもアップした気がします。実行委員会の様子はあんまり変わらへんのかなという気はしますけど、今日みたいにオンラインの参加があって、ここに居ないけど、増えてるんかなと思いますね。そういう点でよかったなと思います。

－今年の意気込みは？－

去年、奈良町座が作っている町名由来板を使った企画を立てたのですが、思ったほど参加してもらえなかったので、今年は、少し方向性を変えて企画を立て直しています。定員を超える申し込みを期待していますし、たくさんの方をお迎えできるよう奈良町座としても体力作りをしていきたいです。

－自己紹介－

高畑住民の松岡 美希です。

－今年の感触は？－

1回目があって、2回目が良くなって、それを積み重ねて3回目が作られているので、良くなる方向に向かっているような気がしています。だんだん慣れてきて、みんなで「もっとこうしたい」という案がスムーズに出てきているように思います。この空間にいて、みんなが同じ方向に向かって進んでいるような空気感を感じました。

－今年の意気込みは？－

2回目は、1回目に参加者として一緒に巡った人とご縁をいただいて企画を立てました。その経験やそのときのお客様の感想を通して、見知ルが大切にする「ちょっといいところ」がお客様目線で意識できるようになった気がしているので、今年は見知ルらしい提案をしていけたらいいなと思います。

次回の実行委員会

第4回　2023年7月21日（金）
第5回　2023年8月18日（金）

奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.13

2023年7月21日発行

編集責任者：杉山 晋平（天理大学）
編集担当者：田中 梨絵（天理大学）
連　絡　先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp

© 奈良町見知ル実行委員会 2023